

10月ゆるりん歩き①～ドングリ探し～

平成19年10月6日(土)10:00～12:00 参加者18名



10:00

まずは都市環境学習センター水槽カウンター前に集合してもらいました。講師の小沢さんの紹介の後、ドングリについて説明がありました。

ドングリは堅果（けんか）といわれる種類であること、ドングリの帽子は殻斗（かくと）という名前であること、殻斗はドングリの種類によってトゲトゲしているもの、シマシマの模様があることなどを教えていただきました。



階段を上って、さくらの丘へ。お天気も良く、とても気持ちの良いゆるりん歩きになりそうです。子どもたちは、虫捕り網を片手に元気いっぱいです。



セイヨウアサガオを見ながら進んでいくと、階段でナナフシが死んでいるのを発見。動かなくなったナナフシですが、子どもたちは体のつくりをじっくり観察していました。



第一のドングリの場所に到着。ここにはアベマキドングリが落ちていました。みんな、下を見て、ドングリ探しをしました。目が慣れてくると次々に「あった！！」という声が聞こえてきました。



チョウを見つけて、虫捕りもしました。シジミチョウという小さなチョウや、モンキチョウを発見しました。コナラ、アラカシ、シラカシ、ヤシャブシ、ツバキの実、シナアブラギリ、キリなどたくさんの木の实を観察しながら花見広場前を通って、第2駐車場へ出ました。第2駐車場から子ども広場へ行く道沿いにはスタジイが落ちていました。子どもたちは歩きながら、道をよく見ていて「あ、どんぐりみっけ！！」と次々ドングリを見つけていました。



椿園のエントランスで一休み。お天気も暑過ぎず、寒過ぎず歩いていると気持ちが良かったです。エントランス近くのカエデにはタネがいっぱい。タネでプロペラを作って少し遊んだ後、椿園を歩きました。椿園の中ではマツボックリをたくさん見つけました。



はじめに通った道に再び戻ってきました。子どもたちは木の实探しのほかに虫探しを楽しんでいました。各自が持っていたビニール袋の中は木の实がたくさんになりました。



今回のゆるりん歩きでは、たくさんの木の实を見つけることができました。参加者から「総合公園にこんなにたくさんの木の实があるとは思わなかった！」という声が聞こえてきました。子どもも大人もドングリ拾いを楽しんだゆるりん歩きでした。

